

OMAEZAKI HOSPITAL SURF CUP 2024



2



1



12



5



4



3



10



9



8



7



11

11,2 大きな波へ果敢に挑む選手 3 閉会式で鈴木病院長が優勝者の手を上げ勝利を称える 4 会場には5店の飲食ブースが出店された 5 試合前にウォーミングアップする選手 6 市内在住のアーティスト・Jiroさんによるライブペイント 7,8 御前崎 DJ プロジェクトや Hulasty によるフラダンスが会場を盛り上げる 9 選手の安全を守る市消防本部 10 公正な審査をするジャッジ Tent 11 参加者の集合写真。中央には Jiro さんがライブペイントでデザインを施したサーフボード 12 市内で活動するウッドバーニング作家・KAN さんによるオリジナルトロフィー

サーフィンで地域の魅力発信

市立御前崎総合病院による医療従事者向けのサーフィン大会「御前崎ホスピタルサーフカップ2024」が11月3日、御前崎ロングビーチで開催されました。大会には全国各地から医療に従事するサーフィン愛好家約70人が参加。

本大会は、サーフィンを通じて本市の魅力を感じてもらおうと、市内の医療従事者不足の解消と、地域医療の充実につなげるのが目的。同病院の鈴木基裕病院長が発案し、地元医師会やサーフィン連盟の協力のもと実現しました。

当日は、台風21号の影響で波が荒れる中、初心者から上級者までが大自然へ果敢に挑んでいきました。参加者は「海の素晴らしさに感動した」「同じ趣味をもつ者同士楽しく交流できた」と拔群のロケーションやイベントを堪能できたことを、充実した表情で話しました。

鈴木病院長は「大勢の協力で大会を開催できた。参加者がこの地域を好きになり、ここで働いてみたいと思うきっかけになれば」と将来への展望を語りました。